

# きりゅう

# 市議会だより

平成13年11月1日

## No.180



9月3日、フルート奏者の大嶋義実さんを迎え、市議会議場で、コンサートが開催されました。

平成13年第3回定例会は、9月3日(月)に招集され、25日(火)までの23日間の会期で開かれました。この定例会では、市長提出議案13件の審議を行い、それぞれ原案のとおり可決し、議員提出議案5件の審議を行い、3議案は原案のとおり可決し、2議案は閉会中の継続審査となりました。

## 主な掲載記事

- 一般質問を16議員が行う..... 2 ~ 6
- 請願の審査結果 ..... 6
- 平成12年度決算を認定 ..... 7
- 意見書の審議結果 ..... 8
- 議事堂の一般公開 ..... 8

# 一般質問

九月二十一日(金)・二十五日(火)の二日間にわたり、十六人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたる問題について、市当局の見解を求めました。

## 質問者

- 岡部 純朗 (市政クラブ)
- 西牧 秀乗 (政友会)
- 寺口 正宣 (公明党)
- 森下 清秀 (政友会)
- 小滝 芳江 (フォーラム桐生)
- 関口 直久 (日本共産党)
- 高橋 定二郎 (政友会)
- 石井 秀子 (桐愛会)
- 下田 文男 (フォーラム桐生)
- 笠井 秋夫 (政友会)
- 岡部 信一郎 (市政クラブ)
- 佐藤 貞雄 (日本共産党)
- 園田 恵三 (フォーラム桐生)
- 幾井 俊雄 (市政クラブ)
- 大澤 幸一 (フォーラム桐生)
- 中田 米蔵 (日本共産党)



職員の研修風景

### 職員の研修・視察

**質問** 職員の人材育成にあたり、どのように研修や行政視察を行っているか。

**答弁** 研修基本方針にもとづき、階層別研修・政策法務研修等の特別研修・自治大学校等への派遣研修等を実施し、人材育成に努めている。行政視察については、各部署において必要に応じて実施している。

### 合併への取り組み

**質問** 桐生市の市町村合併調査研究委員会及び、広域圏市町村による桐生広域合併調査研究会の見通し等を聞きたい。

**答弁** 市町村合併調査研

究委員会は合併問題に対する調査研究を効率的・効果的に進めるための組織であり、現在、行政事務現況調査に取り組んでいる。また、広域合併調査研究会は、市町村間の行政内容の違いを調査するため、各市町村が同時に、行政事務広域現況調査をスタートしている。この調査結果は、合併問題をより具体的に検討する際の資料として活用されるものと期待している。なお、年度内には結果をまとめ、議会や市民にも情報提供していきたい。

### 教科書の採択

**質問** 四年に一度の教科書採択については、教科書展示会でのアンケート等も教科書採択の意見として取り入れるよう、文部科学省から通達がきていたと思う。また、県の教育長からは、採択協議会の審議に先立つ調査委員会の段階で、いわゆる絞り込みを行うことがないように指示が出ているが、桐生市では、教科書採択について絞り込みは行っていないか。

**答弁** 調査員は時間をか

けて十分に検討している。協議会委員は事前に教科書の内容を熟読し、的確な意見等をいただいたものと考えている。また、協議会では、すべての教科書について審議し、協議会の責任と主体性の中で選定が行われ、教科書採択に絞り込みはなかったものと考えている。

### スポーツ交流事業

**質問** 市制施行八十周年記念桐生市長杯少年少女スポーツ交流事業を、八十周年記念の単独事業とせず、

今後も継続していく考えはあるか。  
**答弁** 子供の健全育成のためによいことは、引き続き実施していきたい。



少年少女スポーツ交流事業

## 海の日のごみ収集

**質問** 祝日には、ごみの収集は休みとなるが、市民から「燃えるごみの収集日が七月二十日の海の日にあたる」と、真夏の暑さの中で一週間分のごみをためておかなければならない。燃えるごみには生ごみも含まれていて大変だ。この日だけでも、収集できないか」という声が寄せられている。どうか改善できないか。



桐生広域清掃センター

あるが、実態の把握に努め検討していきたい。

**質問** 児童・生徒の健康管理と学習環境整備のため、夏場に教室内の温度調査を行っているか。

## 教室の温度調査

**質問** 児童・生徒の健康管理と学習環境整備のため、夏場に教室内の温度調査を行っているか。

**質問** 児童・生徒の健康管理と学習環境整備のため、夏場に教室内の温度調査を行っているか。

**回答** 平成十二年度には、学校環境衛生検査として、冬の暖房時期である一月に、教室内の温度・湿度・二酸化炭素等を調査している。夏場の調査についても、実施時期、方法等を前向きに検討していきたい。

## 地方交付税の削減

**質問** 平成十二年度は、地方交付税が百七億円となり、市の歳入の二十二・七パーセントを占めているが、国の地方交付税削減策によって、どのような影響があり、どのように取り組む考えなのか。

**回答** まだ地方交付税制度改革の内容については提示されていないが、市の歳入に占める割合が高いことから、交付税削減の影響は大きいものと考えている。このことから、全国市長会

等を通じて、地方交付税や都市税財源の充実確保等、地方に係わる要望を行っていききたい。

## 幼稚園の三歳児保育

**質問** 幼稚園で友達をつくり、共同生活することは子供の発達にとって大切なことである。「公立幼稚園の三歳児保育を実施してほしい」という市民の声を聞くが、実現できないか。

**回答** 早期教育の必要性が指摘されており、その実現の必要性は感じているが、



幼稚園の子供たち

一方では実施の要望があり、もう一方では反対の要望があることから、これから公立幼稚園のありかたを十分に研究したい。

## 観光地としての桐生

**質問** 桐生市を訪れる観光客は、年間何人くらいか。桐生川沿線の自然環境はたいへん素晴らしいが、観光地としての位置付けをどう考えているか。

**回答** 平成十二年度には、百八十六万二千九百七十四人の観光客入込数を記録している。また、桐生川沿線については、特に梅田町地区は桐生川源流林や桐生川ダム、市民に親しまれている山々、ハイキングコース等、まさに自然の宝庫であ

## 介護保険料の軽減策

**質問** 十月から介護保険料が満額徴収になることに伴い、桐生市では、県内十一市で初めて軽減対策を実施することになったが、その概要と対象者への周知方法を聞きたい。

**回答** 生活保護受給者との制度的な整合性を図るため、低所得で、やむを得ない事情により納付が困難な人に対して、基準額の〇・七五の第二段階保険料を〇・五の第一段階に引き下げ、利用料についても、第二段

り、桐生市の観光におけるウエイトは大変大きいものがあると考えている。

## 忍山川のごみ問題



ごみの持ち帰りを促す看板

**質問** 過日の地元新聞の報道でも、梅田町地区の忍山川流域でパーベキューやキャンプをする人たちのマナーの悪さが問題視されていたが、来訪者のごみ問題について、どのような対応策を考えているか。

**回答** 現在は、ごみの持ち帰りを促す看板を設置する等の対策を講じているが、梅田清流広場の活用、仮設トイレの設置、キャンプの是非等について、地元の皆さんや関係機関と協議していきたい。

## 低地の雨水対策

**質問** 相生町二丁目のひまわり住宅付近は、土地が低いいため、大雨が降ると雨水が流入し、床下浸水したこともあり、早期の対策が求められている。平成十二年度には、雨水排水路工事が延長百六十四メートルで実施されたが、残り部分の工事の見通しはどうか。

**回答** たいへん厳しい財政状況であるが、できる限り早期に工事を完成し、住民の要望に応えられるように努力したい。



ひまわり住宅付近

## 道路交通体系の計画

**質問** 渡良瀬川や桐生川で市街地が分断されているため、橋の周辺等が渋滞してしまい、交通に支障をきたしている。北関東自動車道へのアクセス道路も含めて、道路交通体系の計画をどのように考えているか。

**答弁** 周辺市町村等との連絡性の向上、アクセス道路としての中通り大橋線・桐生大橋線の整備を重要課題として、事業の推進を図っている。なお、今後は都市計画マスタープランに

もつづいて、順次、道路網整備を推進していきたい。

## 非常階段等の整備

**質問** 多数の死傷者を出した新宿の雑居ビル火災の例からも、災害時には避難路や非常階段が重要である。そこで、市民文化会館においても、徹底した防火管理と同時に、利用しやすい避難路・非常階段について考慮すべきではないか。

**答弁** 市民文化会館では、消防署員の指導のもと、初期消火活動や避難誘導訓練



市民文化会館の消防訓練

を実施し、誘導シミュレーションも作成している。避難路・避難階段等の改善策についても、早急に検討し、実施していきたい。

## 日本経済の見通し

**質問** 企業の倒産やリストラが相次ぎ、五パーセントを超えた完全失業率となっているが、今後の日本経済についてどのような見通しをもっているか。自治体としても、雇用の創出に努力すべきではないか。

**答弁** 九月十三日に発表された月例経済報告でも、「景気は引き続き悪化しており、世界経済の一層の減速等、懸念すべき点が見られる」とあり、国・県と協調し、この厳しい状況に対

## 合併問題の見通し

応していきたい。また、県・群馬県労働局・公共職業安定所等の各種団体と連携し、雇用対策に努めたい。

**質問** 合併問題に関しては、すでに庁内組織として「市町村合併調査研究委員会」を組織し、広域圏市町村においても「桐生広域合併調査研究会」を組織して調査研究をスタートしているが、今後の進展をどのように考えているのか。

**答弁** 桐生広域圏は、し尿・ごみ処理・斎場等、県内でも最も整備された広域圏であり、国の財政的支援の見極めがつけば、かなり早く進むと考えている。

## 健康づくりの推進

**質問** 健康づくりを推進するためには、「元氣織りなす桐生二十一」というような名称を決め、実態に合った目標を掲げ、独自の健康運動を推進すべきではないか。また、基本健診であるわたらせ健康診査の結果をみると、桐生市民の健康の実態がわかると思いますが、どのような状況か。

**答弁** 健康づくりには鋭意努力しているところであり、国・県の計画も考慮し、桐生市の健康づくり計画を

策定したいと考えている。平成十二年度のわたらせ健康診査の結果は、要指導者が四十・五パーセント、要医療者が四十三・六パーセ



健康づくりの講習会

ントという状況であり、「コレ捨て教室」・「糖NO教室」等の事後指導に力を入れていきたい。

## 精神障害の取り組み

**質問** 精神保健法改正で平成十四年度から精神障害に関する業務が市町村に一部移管されるが、精神障害者の社会復帰施設の取り組みをどう考えているか。

**答弁** 居宅生活支援事業の一つであり、精神障害者への福祉サービスを充実させていく中で検討したい。

## 自転車の放置防止

の問題を抱えているが、国民の老後の生活を支えるために必要な制度である。桐生市では、被保険者数と受給者数の推移はどうか。また、保険料の収納対策として、どのような対策を講じているか。

**答弁** 被保険者数は年々減少しているが、受給者数は逆に増加している状況である。保険料の収納対策は、職員等による保険料の納付奨励や納付困難者への免除勧奨、日曜相談窓口の開設等を行っている。

**質問** 駅周辺では、多くの自転車が放置されており、都市の美観を損ね、歩行者等の通行の妨げとなっている。放置させないルールづくりとして、自転車等の放置の防止に関する条例を制定すべきではないか。

**答弁** 現在は、市内のすべての駅に需要に見合った駐輪場が整備されており、条例を制定する必要性は高くないと考えるが、今後については、状況の推移をみながら検討したい。

## 国民年金の現況

**質問** 日本経済の低迷や少子・高齢社会の到来とともに、国民年金制度は多く



国民年金のPR活動



## ペイオフの解禁

**質問** 平成十四年四月からペイオフが解禁になり、自治体の公金も一般預金者と同様の扱いとなることから、早急に対策を確立する必要がある。公金預金保護の方策はどうか。

**答弁** 総務省の「ペイオフ解禁の対応策研究会」のとりまとめでは、公金保護策として、管理運営の金融商品を組み合わせた方法への変更、地方債等の借入金と預金の相殺、指定金融機関からの追加担保徴収や金

融機関が保有する国債・地方債等への質権設定が示されているが、万全な公金保護策を見いだせないのが各自治体の現状であり、広域圏や外郭団体等も含めて、連絡調整し、公金保護にあたるべく組織づくりを進め、研究していきたい。

## 児童虐待の防止

**質問** 児童虐待の早期発見と予防には、相談・通報等の窓口を拡大しておくという発想が重要ではないか

**答弁** 児童虐待の通報マ

ニュアルを作成・配布し、周知を図ったところであり、関係機関と地域協力のネットワークを構築し、虐待防止に努めていきたい。



子ども虐待通報マニュアル

## 医療制度の改革

**質問** 平成十四年度医療制度改革の厚生労働省案が新聞等で報道されているが現在の段階において、この医療制度改革をどのように認識しているか。

**答弁** 被用者保険と国保の給付率を七割に統一すること、対象年齢の七十歳から七十五歳への順次引き上げ等が主な改革案であると認識している。なお、詳細については、今後、厚生労働省から示される予定であり、国・県の動向を注視し

## 大店立地法の影響

**質問** 平成十二年六月の大店立地法の施行により、市内の商業には何か影響があったか。また、最近の商店数や商品販売額はどのように推移しているか。

**答弁** 大店立地法の施行後、桐生市周辺では大型店新設の動きがなく、法施行による影響は現れていないと考える。商店数と年間商品販売額は、平成九年と平成十一年の商業統計の比較

ていきたい。



本町通りの商店街

で、商店数は四店舗減少し、商品販売額は百四十二億八千八百九十九万円の減少となっており、厳しい現況を示している。

# 請願の審査結果

この定例会では、請願6件の審査を行い、次のとおり、1件が採択となり、そのほかの5件は閉会中の継続審査となりました。

なお、議会は、採択となった請願第31号に係わる意見書の提出を決定しました。(同意見書は8ページに掲載。)

### ●採択となった請願

件名	31号 道路特定財源制度堅持に関する意見書の提出についての請願
結果	採 択(賛成多数)

### ●閉会中の継続審査となった請願

産業経済委員会	32号	競艇施設借り上げ料等の引き下げを求める請願
教育民生委員会	30号	「乳幼児医療費の無料化を国としておこなうことを求める」意見書提出の請願
	33号	介護保険の保険料・利用料の減免と特別養護老人ホーム待機者をなくすことを求める請願
	34号	「公立高等学校教職員の正規定数確保と新採用者の拡大を求める」意見書採択についての請願
	35号	「30人学級の具体化をすすめ、公立高等学校の学級削減・統廃合をやめ、地域の高校としての存続と充実をはかることを求める」意見書採択についての請願

# 決議

この定例会では、次のとおり、議員より決議案が提出され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

## 飯山順一郎議員に対する議員辞職勧告決議

原案可決(賛成多数)

# 人事案件

市議会は、人事案件二件に同意及び、異議ない旨回答することを決定しました。

## 収入役

高野 喜 昭氏  
(新任)

## 人権擁護委員

青木 益 子氏  
(再任)

# 12年度 決算を認定

## 賛成討論

厳しい財政状況の中、投資的経費が大幅に増加し、経常収支比率、公債費比率ともに改善の方向にあることや、北関東産官学研究会、北関東アクセス道路、第4次総合計画、桐生川の清流を守る条例等、明日の桐生のための事業がことごとく実行されており、その取り組みは評価できる。よって、賛成する。

## 反対討論

医療改悪の阻止、消費税の減税、30人以下学級実現と教職員増員等について、対政府要求を桐生市独自で行う姿勢がない。住宅は人口問題の基本であるが、公営住宅の整備等の施策が十分ではない。事業所・事業者の大幅な減少や税金を払えない市民の急増についての施策が必要である。よって、反対する。

## 平成十二年度の 財政状況は

**【答弁】** 前年度と比較して経常収支比率は三・五ポイント改善され、公債費比率も〇・七ポイント改善されているが、財政力指数は〇・四二低下している。財政力をつけるには、市税収入の確保が重要であるため、産業基盤の整備等を図りながら、財政力指数の改善に

平成12年度桐生市歳入歳出決算及び桐生市水道事業会計決算を、それぞれ賛成多数で認定しました。

同決算の認定にあたっては、監査委員による監査報告の後、各会派代表の議員(5人)が総括質疑を行うとともに、決算特別委員会(委員12人で構成)を設置し、2日間にわたり、慎重に審査を行いました。

総括質疑における、主な質疑に対する市当局の答弁は次のとおりです。

## 市町村合併の 取り組みは

**【答弁】** 八月二十日には、「市町村合併調査研究委員会」を庁内で組織し、八月二十三日には、広域圏市町村の広域担当課長を委員とした「桐生広域合併調査研究会」を組織し、行政の現状を把握すべく、調査を開

向けて長期的に努力していきたい。

## 中通り大橋線の 進捗状況は

**【答弁】** 左岸側の用地補償ベースの進捗率は、平成十二年度末で約七十八パーセントとなり、本年度中には約九十九パーセントになる見込みである。右岸側については、国の内示が得られ、現在、事業認可を取得すべく事務手続きを行っている。

始めている。なお、合併の方向性の選択では、住民の意向を最大限に尊重しなければならぬと考えている。

## 地域イントラネット 基盤整備事業は

**【答弁】** 施設予約システム・相談窓口システム・テレビ会議システムが稼働を始めており、今後、施設予約

## 傍聴席から



曾我部 敦さん

凛とした議長長の「一般質問を続行いたします」の声が議場に響き渡り、桐生市議会第3回定例会の一般質問が再開されました。質問は市の財政・総務・建設・都市計画・教育・環境・医療福祉・産業振興・国際施策等、現代社会の抱えるあらゆる問題が話し合われていました。これは今、小中学生が身近な自分たちの課題として新たに取り組んでいる総合的な学習の時間の内容そのものです。

子供たちは、「私たちが住むまち桐生が好きな子」に育ってきています。がんばれ桐生市。

私たちが、桐生の子供たちのために努力しなければと強く感じました。



相談窓口システム

の対象施設の拡張や、市役所側の相談窓口の追加等さらにシステムを充実させていきたい。

## 医療事務組合 議員選挙

桐生市外六箇町村医療事務組合議会議員について、選出の依頼にもとづき、次のとおり選出しました。

桐生市外六箇町村  
医療事務組合議会議員  
山口 時次氏

# 意見書

この定例会では、次のとおり、意見書2件が議員より提出され、審議の結果、原案のとおり可決し、内閣総理大臣ほかに送付しました。

## 義務教育費国庫負担制度の維持に関する意見書

義務教育費国庫負担制度については、まず昭和60年度予算において旅費及び教材費に対する国庫負担を一般財源化して以来、年々その削減項目を増大させており、平成14年度予算では、義務教育費国庫負担制度における国と地方の役割分担を見直すとして学校事務職員及び栄養職員の給与費に対する国庫負担の廃止を検討しているとのことである。

義務教育に対する国庫負担制度は、教育の水準維持と機会均等及び地方財政の安定のため、国が財源を保障するとの趣旨で確立されたものであり、この国庫負担を縮小することは義務教育行政の円滑な推進に重大な影響を及ぼすものである。

よって、政府においては、義務教育の水準確保と地方教育行政の安定を図るため、学校事務職員及び栄養職員給与費の義務教育費国庫負担制度を維持するよう強く要望する。

提出先 内閣総理大臣 財務大臣 文部科学大臣 総務大臣

## 道路整備財源の確保に関する意見書

道路は、豊かな国民生活や活力ある経済・社会活動を支える最も基礎的な施設であり、その整備は非常に重要である。しかし、大都市圏を除く全国各地では、道路整備はまだ十分でなく、住み良い地域社会実現と地域振興を図るためにも、その整備促進が強く要望されているところである。

本市を結ぶ都市連絡道路として重要な役割を果たしている国道50号バイパスの未整備部分の早期着工や、全国各地との交流推進にとって高速交通網の北関東自動車道の早期実現を切望しているところである。さらに、これら国道50号バイパス及び北関東自動車道を補完するアクセス道路や、国道122号をはじめ環状道路や基幹道路も未整備であり、市内中心部や橋梁付近における交通渋滞は慢性化している状況である。これらの道路整備は本市の活性化を図るには欠くことのできない最重要課題である。

よって、政府におかれては道路整備の一層の促進を図るため、道路特定財源を含め道路整備財源の確保について特段の配慮を賜りたく強く要望する。

提出先 内閣総理大臣 財務大臣 国土交通大臣



市議会議事堂

## 議員の年賀状・寄附等は、法律で禁止されています

公職選挙法により、議員は、次のこと等が禁止されています。

市民の皆さんのご理解をお願いします。

年賀状等のあいさつ状を出すこと。  
(答礼のための自筆のものは除きます。)

寄附行為をすること。

本人が出席しない慶弔に祝儀や香典を出すこと。

## 議事堂を公開

「議長席での記念撮影をどうぞ」

### 内容

市議会では、桐生市市制施行八十周年・水道創設七十周年記念行事として、議事堂を公開いたします。多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

### 期日

十一月十一日(日)

### 時間

午前10時～午後3時

### 問い合わせ

詳しくは、議会事務局へ  
(市役所内線八二二)

## お知らせ

次回定例会の開会予定は

12月7日(金)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。平成13年第3回定例会の会議録は、12月上旬からご覧いただけます。なお、桐生市のホームページでも、ご覧いただけます。